



PLUS ULTRA

富キャン Express Vol.28

~ The emblem of HAKUOH UNIVERSITY ~ 白鷗大学足利高校富田校舎広報

The checker means five continents, the stripe means three oceans, and they express the posture that we'll have a good look at the world widely.



年頭の挨拶の前に、昨年10月の台風19号により被災した方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、1日も早い完全復興をお祈り申し上げます。

令和2年が明けました。みなさんほとんどお正月を過ごしましたか。3年生の中には、センター試験を間近に控え正月どころではないという人も多いかもしれません。このセンター試験をめぐることは、昨秋に大きな問題が起きました。11月になって、国が来年度実施予定で進めてきた「英語の民間試験利用」が延期になりました。国語と数学の記述式導入についても異論が高まっています。来年度の1月には受験することになる2年生はもうろく、3年生も、来年度の入学方法の変更を見据えて今年の進路を選択してきたわけですから、動揺や混乱があったことと思います。我々教員も胸を痛めています。しかし、実施方法にどんな変更があっても、受験の王道は変わりません。勉強し力をつけることです。英語に関しては、次年度の検定試験の申し込みが済んでいて、無駄だったと考える人がいるかもしれませんが、しかし、皆さんにとって、検定試験に向けて勉強する意味、試験で経験を積むことは何の無駄にもならないはずです。日本中の受験生が同じ状況の中です。

社会の変化に目を向け正確な情報を得ること、情報に振り回されず今の自分に必要なことを地道に努力し続けること、この二本柱で、今年1年突き進んで(猪年は終わりましたが)もらいたいと思います。

さて、毎年この号では修学旅行の報告をしていますので、今回も少しふれておきましょう。今年度もアメリカ西海岸と沖縄の2コースが実施され、私は西海岸コースに同行しました。そこで印象に残ったことが二つあります。一つは、2日目にサンタモニカで行われたグループでのミッション型行動です。その土地に因んだ問題が全て英語で書かれた問題用紙を手に、街の人々にインタビューしながらグループで問題を解いていくゲームです。現地の人々と積極的にコミュニケーションをとり、昼食の間も惜しんで取り組んだグループがいくつもありました。二つ目は、3日目の夕食前にCASプログラムの一環として行われた座談会です。CASプログラムとは、どんな仕事につき、どんな働き方をするかを考えることを通して生き方を設計するものです。現地で活躍す

る4人の若い日本人を講師に招き、世界を意識したビジネスへの取り組み方や、海外での生活についてうかがったのですが、単なる講演会に終わらず、座談会の名のとおり、たくさんさんの質問が生徒たちから出て、予定の時間をオーバーしてしまいました。どちらも、積極的に海外でも物おじしないのびのびとした気風、コミュニケーション能力、興味関心の広さ、将来を見据える目を持っていることなど、皆さんのすばらしさを改めて感じる機会になりました。新しい時代を生きる力が確実に育まれていることを実感した旅となりました。

令和2年、まさに新しい時代です。どんな年になるだろうとは思っていませんが、どんな年になるのか。正月ごろではないと焦っている人ももちろんと立ち止まって、家族とともに過ぎた1年を振り返り、新たな抱負を持つ、あるいはこれまで目指してきた目標を再確認する、そんな時間を持つことも大切です。3年生は、入試で今年が終わるのではありません。その先に、新たな世界が待っているのです。1・2年生は、先の大きな目標とともに、日々の学校生活にも小さな課題を持って臨んでもらいたい。新春の心引き締まる冷気に大きく深呼吸し、今年1年の自分の進むべき道を描いてみてほしい。



表彰された深沢さん

新しい時代への挑戦ー夢に向かってー

教頭 須藤 敏哉



令和

栃木県安定 県税事務所長賞受賞

11月13日に足利商工会議所で「税に関する高校生の作文」入賞者の表彰式が行われました。進学1の2 深沢莉瑚さん(佐野西中)が見事に入賞を果たし、栃木県安定県税事務所長賞をいただきました。

深沢さんは、「免税から気づいた税金の意義」というタイトルで、海外旅行をした際に訪れた免税店での体験から、租税制度に関心をもち、諸外国の租税制度を調べました。国際比較をしながら、税の意義と今後の在り方などを作文としてまとめました。

入賞者の作文は、本人によって朗読され、わたらせテレビで放映されました。緊張した面持ちの深沢さんをご覧になった人もいるのではないのでしょうか。

三年に一度の富can祭

7月19日・20日に3年に一度の富田校舎の文化祭「富can祭」が行われました。悪天候が懸念されましたが、生徒の熱気が勝ったのが両日とも快晴となり暑々ぐわりの陽気となりました。

今年も例年にも増して各クラス、部活動、同好会、生徒会、生徒有志など数多くの団体が気合の入った催し物や発表を見せてくれました。その一部を紹介します。

あるクラスはお化け屋敷を作成し来校者を楽しませていました。その完成度の高さから、教室内から絶叫しながら逃げ出してくる来校者も見受けられたほどです。それでもその行列は絶えず大人気のアトラクションとなっていました。また緑日の再現をしたクラスもあり、教室に入ると本当にどこかの緑日に来ている様な気持ちにさせてくれました。さらに、面白い趣向の催しものとして「スライム作り



ダンス同好会の発表



テーブルカットの様子



スライム作り体験中!

体験」などもありました。小学生などの子供を中心に大人気となっていました。一方で焼きそばやフランクフルトなどを売る模擬店を行ったクラスには常に長蛇の列が出来て休む暇もないほどだったのではないのでしょうか。体育館発表も様々な有志・同好会・部活動による演奏やダンス、演劇が盛り上げられ一時は会場総立ちで盛り上がるほどとなりました。今回は熱心な生徒による提案で外部からインディーズのバンド「PARK L.I.F.E」さんを特別ゲストとしてお招きし、体育館発表のトリを飾ってもらいました。やはり素人とは味違つプロの演奏を聴いて、校長先生を含め会場は大いに盛り上がりました。今年度は生徒会はオリジナルうわの作成及び無料



under the sea (ジュース販売)

焼きそば買ってね

大好評! 生徒会オリジナルうわ

配布を行いました。当日、暑かったこともあり在庫はすぐに終了してしまい、受付に問い合わせた来校者の姿も沢山あったようでした。今回の盛況を受けて、今後も生徒会としてオリジナルうわを毎回作って富can祭のシンボルの一つとしてきたらと考えています。

毎回、富can祭は生徒一人ひとりが休む間もなく走り回り、全力で仕事をし、全力で楽しんでいく姿が印象的です。今年も今まで以上にそんな一生懸命な生徒達の姿を見ることが出来ました。今年も良い文化祭だったのでではないでしょうか。

笑顔の絶えない2日間

生徒会副会長 進学コース3年3組 渡邊 旭(栃木西中)

去る7月19日・20日に富can祭が開催されました。各クラスや部活動、有志団体のユニークな企画書が提出され、準備が始まると、生徒会でも何か新しい試みをしようと話し合い、手作りうわを作成し、来校者に配布することにしました。800部ものうわを作りましたが、たくさんの方に来ていただいたため、すべて配布することができました。オープニングセレモニーでは教頭先生と実行委員長との3人でテーブルカットを行いました。みんなに見守られながらテーブルを切る瞬間はとても緊張しましたが、とても貴重な体験になったと思います。

科学部が優秀賞を受賞しました

科学部の研究内容をまとめたポスター資料が、学生科学賞栃木県展覧会で優秀賞を受賞しました。

発表した研究では酸化還元反応が繰り返されるBR反応について調べました。BR反応では、単体のヨウ素がヨウ化物イオンに変化した後、再び単体のヨウ素が生成する反応が繰り返されます。この反応を行うために5種類の試薬を混ぜるのですが、その濃度を変える事で振動周期がどのように変化するのか調べました。先行研究をきちんと調べている点やグラフが見やすく工夫されている点について、評価を頂きました。

10月28日には栃木県教育センターで表彰式が行われました。生徒たちは表彰式の厳粛な雰囲気緊張した様子でしたが、表彰されたことでこれまでの活動に自信を



授賞式後に記念写真

富キャンExpress vol.28題字の右側のカモメのロゴは富田キャンパス文芸イラスト同好会の生徒の作品です。お忙しい中、原稿・写真等の協力ありがとうございました。

編集 富キャンExpress係
発行 白鷗大学足利高等学校富田校舎 足利市多田木町1067
電話 0284-91-2633
制作 足利印刷株式会社
発行 令和2年1月5日





最優秀賞を受賞した進学コース1年3組

11月15日に第25回富田校舎合唱祭がシールホールで開催されました。沢山の保護者が鑑賞する中、課題曲の「君の隣にいたいから」と、各クラスそれぞれの自由曲が披露されました。生徒たちは台風による休校のため、練習時間の確保に苦労しながらも、この日のために早朝や放課後、練習に励んできました。どのクラスもその成果が十分に発揮され、会場はクラシックの一体感が感じられる、感動的な美しいハーモニーに溢れました。また、第二部として、三線(さんしん)奏者の石井道康さんと和楽器奏者のたぎがわよしひろさんによるミニコンサートも行われました。心に響く和太鼓の迫力と沖繩の風を肌で感じる三線の演奏と歌に会場は酔いしれました。

第25回合唱祭 感動をありがとう

僕が合唱祭実行委員長として一番大切にしていたことは、合唱祭を全力で楽しむこと。今回の課題曲である「君の隣にいたいから」はアンポが速く、歌っている人も聞いてる人もなんだか楽しくなってくるよつな曲です。人と自分を比べる必要は全く無い！自分の進むべき道を見つけて、それに向かってみよう！努力すればいい！という決意をこの曲は伝えてくれます。どのクラスも一致団結して、楽しみながら歌っていました。今回の合唱祭で、歌やピアノに感動し、来てくださったゲストの方が演奏してくださった太鼓や三線の音色に圧倒され、音楽の良さを改めて実感しました。これから音楽を楽しむ心の忘れずに生きていきたいと思います。

一致団結合合唱祭 特別進学コース1年1組 蜂須 優真(白鷺足利中)



ゲストと合唱部による「涙そうそう」

第25回 合唱祭 結果

最優秀賞 進学コース1年3組

優秀賞 特別進学コース1年1組

指揮者賞 伴奏者賞

課題曲 進学コース1年2組 小杉 彩花さん(古河一中)
進学コース1年3組 小林 滯さん(尾島中)

自由曲 進学コース1年1組 田沼 由美さん(山辺中)
進学コース1年1組 茂木 大輝くん(佐野西中)



課題曲の部 指揮者賞の小杉彩花さん



試合終了

経験を生かし、さらに上位で戦えるよう、チーム丸となって努力していきたいと思います。

ごたえを感じた大会だったと思います。今大会での経験をさらに上位で戦えるよう、チーム丸となって努力していきたいと思います。



選抜大会への出場決定!



確実に点を取りに行く

修学旅行 アメリカ西海岸

11月7日から4泊6日の日程で実施されました。UCLA見学やサンタモニカで課題に取り組んだ班別行動では英語を駆使してコミュニケーションをとっていました。現地でも働く社会人との交流会では刺激を受け、将来を考えるよい機会となりました。アメリカから多くのものをインスパイアされ有意義な旅でした。

アメリカ西海岸 修学旅行の思い出 進学コース2年3組 田村 日梨(館林四中)

アメリカ西海岸への修学旅行で最も印象に残ったことは、街並みの美しさでも、食文化の違いでもなく、自身が心から英語を話せるようになったことだと思います。班別行動をしていた際、男性の二人組が、「何か手伝えることはある?」と声をかけてくれました。拙い英語で何とか質問すると、笑顔で答えてくれました。それだけでなく、日本の好きな漫画やゲームについて話してくれました。初めての異国、言葉も通じない街で右往左往していた私たちには、声をかけてくれただけでも有難く感じました。また、思わぬところで日本文化に対する好評を聞いて嬉しかったです。「日本は世界へ冷たい国らしい。」そう言われると違和感がありま



エンゼルススタジアムにて



ディズニーランドにて

すが、日本人の持つパーソナルスペースはアメリカ人よりも広いと思います。現地ではどの方も拙い英語を汲み、笑顔で対応してくれました。帰るときには、日本人も見習うべきだと友人と話した程です。私たちがもつ英語を話せれば、日本文化をより正確に伝えられるし、親切にしてくれたことに対する感謝の気持ちも伝えられます。苦手意識の強い英語、外国という二つに、良い印象を持てたのは、修学旅行での良い思い出があるからです。英語が話せるようになったら、必ずまたアメリカを訪れたいと思います。

修学旅行 沖縄

11月8日から4泊5日の日程で修学旅行が行われました。初めての2日間は石垣島の透き通った青い海に魅了されながら、竹富島散策やカヌー体験を楽しみました。那覇に移動してからは、平和講話や南部戦跡めぐりで沖縄戦について学び、美ら海水族館をはじめとする観光地を友達と一緒にまわってたくさん思い出を作りました。

沖縄の景色 特別進学コース2年2組 宮田こよみ (ハンコク日本人学校)

私がこの修学旅行で最初に感じたことは沖縄の景色の美しさです。飛行機の窓から見えた鮮やかな青色の海やサンゴ礁は、間近で見るともっと綺麗で、たくさんの美しい景色が広がっていました。石垣島で見たヤシの原生林は、根の生え方や実の付き方が不思議で自然の神秘を感じました。竹富島のサイクリングでは、赤い屋根瓦の家や透き通った青い海に目を奪われていました。首里城は焼け落ちてしまいましたが、首里城は焼けたまま残っていました。しかし、綺麗な朱色の守礼門等から琉球王国の歴史を感じることができ、また、巨大なガジュマルの逞しい生命力を感じることが印象に残りました。3日目の夜に、沖縄戦を経験された方からの平和講話を聞きま



石垣島カヌー体験



竹富島散策

沖縄には、美しい景色から想像できないほど辛い歴史があります。その歴史を悔やみ、二度同じことを繰り返さないようにするというのが、今の沖縄をつくったのだと思います。また、沖縄の景色を見に行きたいです。

大学見学

11月8日、一年生を対象に大学見学が実施されました。生徒は希望によって、①群馬大学(荒牧・桐生キャンパス)コースと②宇都宮大学(峰キャンパス)・白鷺大学(本キャンパス)コースの2コースに分かれて、見学しました。どちらのコースにおいても、教授による大学の概要説明を聞き、研究室や研究施設を見学して最先端の研究を学ぶことができました。また、普段学生が利用している学生食堂で昼食を食べたり、キャンパス内を散策したりしました。生徒たちにとって、普段では経験できないような貴重な時間となり、自身の進路について考えることができました。



群馬大学の説明を聞く生徒たち



白鷺大学の大学見学を終えて

男子ソフトボール新人大会 全国選抜大会を目指して

11月3日に男子ソフトボール新人大会が大田原グリーンパークで行われました。この大会は3月に行われる全国選抜大会の出場権をかけた大切な試合です。決勝の対戦相手は足利工業高等学校です。初回表、先発投手の特進2の2橋本颯馬君(結城東中)、主将の進学2の4佐野黎君(清流中)を中心に足利工業の打線を危なげなく打ち取り0点に抑えました。試合を決定づけたのはその裏でした。制球の定まらない足利工業の投手を捉え、ヒット、四死球、野手のエラーなどにも乗じ大量25得点をたたき出し試合を決めました。試合はそのまま三回コールド勝ちとなり、3月の選抜大会の出場権を得ることが出来ました。この結果に慢心せず上位の大会での勝利に向けてこの秋から春にかけての寒い期間も練習に励みたいと思います。部員同頑張りしますので、応援よろしくお願ひします。



ゴールを決めて喜ぶ選手たち